

通常砂防事業の仏像模型製作に係る確認結果について

1 要旨

令和8年4月16日以降報道のあった、西部建設事務所呉支所における仏像模型製作について、事実関係の確認結果を報告する。

2 概要

檜垣川通常砂防事業の業務委託において、砂防堰堤や工事用道路等の整備のための調査・設計を行うにあたり仏像模型を2体製作した内容について、関係者に事実関係を確認した。

(1) 業務内容

業務名	その他河川 檜垣川 通常砂防事業に伴う業務委託
受注者	復建調査設計(株)広島支社
履行期間	令和3年8月5日～令和7年3月31日
契約金額	107,980,400円
業務概要	現地測量、砂防堰堤予備設計、砂防堰堤詳細設計、地質調査、道路概略設計、道路詳細設計、用地調査業務

※ 本業務において、仏像模型（実物の約1/6：風神像約50cm、焰摩天像約40cm）2体を約500万円で製作

(2) 仏像模型製作の経緯について

時期	内容
R4. 3～5.8	檜垣川砂防事業において、2基の砂防堰堤や工事用道路等を関係者と協議しながら事業計画を検討。多数の石仏が支障となるが、移設が事実上不可能であり、支障となる場合は新設が必要であることを確認。
R5. 9～10	砂防技術指針の改定に伴い1基の砂防堰堤とする計画に変更。概略検討により2体の石仏（風神像・焰摩天像）が事業計画の支障となる可能性を確認。
R5. 11	支障となる石仏の補償に向け、模型2体の製作に着手。
R6. 3	設計を詳細に進めた結果、石仏（風神像・焰摩天像）が事業の直接の支障とならないことを確認。（2体の仏像模型は新設を検討する上で直ちに必要ない状況ではなくなった。）
R6. 3.29	仏像模型2体等の検査・引渡し。呉支所内の書庫で保管。

(3) 仏像模型の必要性について

支障となる石仏の撤去への協力が得られるよう、石仏の新設による補償が可能であることを早急に示すため、製作場所から現地に移動できる大きさの石仏の部位・具体的な組み立て方法やその補償等について、模型を基に検討する必要があると判断した。

(4) 仏像模型の所在について

呉支所の保管場所において仏像模型2体のうち1体（焰摩天像）の所在を確認したが、1体（風神像）は所在不明であった。このため在籍していた職員へ聞き取りを実施したが、所在は確認することができなかつたため、警察へ相談しているところである。

3 今後の対応

檜垣川通常砂防事業については、引き続き、地域の理解を得ながら、安全・安心の向上のため着実に事業を進めていく。